

入学者選抜の基本方針

◆総合型選抜[一般枠・地域枠]

本学の建学の理念、教育方針、アドミッションポリシーに基づいて、専門分野への興味関心度や目的意識の高さ、学習意欲と協調性など、専門職として生涯成長できる潜在的能力の評価に重点をおき、それぞれの領域で活躍・貢献することのできる熱意ある人材を受け入れることを目的とします。

◆学校推薦型選抜(A日程・B日程・福祉科特別推薦・スポーツ系特別推薦)

本学の建学の理念、教育方針、アドミッションポリシーに基づき、高等学校在学中における「学習成績の状況及び課外活動等の取り組み内容や成果」を多様な観点から評価し、入学後もその成果をもとに本学教育を発展的、継続的に学び続けることのできる意欲の高い人材を受け入れることを目的とします。

◆一般選抜(前期日程・後期日程)

高等学校段階における基礎的な学習の達成の程度を教科学力テスト得点により把握し、調査書による「主体性・多様性・協働性」も評価に加えることで、専門職教育を理解する基礎学力を基盤として主体的、協調的に他者とともに学ぶ高い資質を持つ人材を受け入れることを目的とします。

◆大学入学共通テスト利用選抜(前期日程・後期日程)

本学が指定する大学入学共通テストの科目得点を重視しつつ、調査書による「主体性・多様性・協働性」も評価に加えることで、専門的教育を理解する基礎学力を基盤として主体的、協調的に人々とともに学ぶ高い資質を持つ人材を受け入れることを目的とします。

◆特別選抜(社会人)

これまでの社会人としての多様な人生経験を背景として、人のケアに関わる専門職を目指す熱意ある人材を受け入れるため、学力の3要素を基本として多面的な能力を総合的に評価することを目的とします。

2024年度入学者選抜のポイント

① 奨学制度の対象範囲・認定者数を拡大します。

本学では学業特待生制度や修学支援授業料減免制度、貸与奨学金制度などを設けていますが、令和5年度から奨学制度の対象範囲・認定者数を拡大し、より多くの学生が支援を受けられるようになりました。特に、年間の授業料が1/2減免される入学特待生は一般選抜前期日程定員89名の約40%まで拡大され、特待生選考に合格するチャンスが広がります。

(詳しくは40ページを参照)

② 調査書の活用について

学力の3要素を評価する観点から出願書類である調査書を合否判定に使用します。特別選抜においては、調査書を活動報告書に代えて評価します。評価項目は以下のとおりです。

総合型選抜・学校推薦型選抜

- 学習成績の状況
- 特別活動の記録
- 指導上参考となる諸事項
(学習・行動の特徴、特技等、部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等、取得資格・検定等、表彰・顕彰等の記録等、その他)
- 出欠状況

一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜

- 特別活動の記録
 - 指導上参考となる諸事項
(学習・行動の特徴、特技等、部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等、取得資格・検定等、表彰・顕彰等の記録等、その他)
- ※調査書が提出できない場合は、志願者本人が作成する「活動調査書」を評価します。

新型コロナウイルス感染状況により、高等学校で臨時休校、部活動等の諸活動や実績、資格・検定試験の中止や延期等があった場合は、志願者が不利益を被ることがないよう、多面的・総合的に評価します。

2024年度入学者選抜については「調査書の備考欄」に記載された内容は合否判定に利用しません。